

アースデイとやま 2023 実施計画書

アースデイとやまとは

「アースデイとやま」は、市民が集まり、企画運営してつくり上げてきた環境啓発行事です。1991年の第1回開催以来、おかげさまで今年31年目を迎え、毎年数千人の来場者が集まる大きな市民フェスティバルに育ってきました。アースデイとやま実行委員会は年ごとに、参加・出店する市民有志によって構成されます。自然との共生、地球環境に配慮した商品、食の安全、身体と心の健康、スローライフ、自然エネルギーへの転換などをコンセプトに、経済に依存しすぎない、持続可能な「もう一つの生き方・暮らし方」を、来場者の皆さんとともに考え探ってきました。2018年からは、アースデイとやまが母体となって生まれた「環境市民プラットフォームとやま」(PECとやま)との連携のもと、「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals、SDGs)の普及啓発にも力を入れています。2020年、2021年はコロナ禍のもと二度のオンライン開催を行い、2022年は「止めよう温暖化、今、わたしたちにできること」をテーマに掲げ、三年ぶりの対面開催となりました。

アースデイとやま 2023 の活動方針

現在までのところ、2021年から2022年にかけて世界を席卷し続けてきた新型コロナウイルスは、新型株の発生リスクを抱えながらも徐々にその脅威を弱めつつあるように見えます。しかしその一方で、社会の分断化や経済の低迷、少子高齢化に伴う人口減少は全世界的な共通課題となり、それらを背景とした国際紛争やテロ、戦争の発生が人類社会の極めて深刻な不安定要因となっています。それに加えて、私たち全世界のアースデイの仲間が中心的な課題としてきた環境問題も、地球温暖化や気候変動、様々な環境汚染、生物多様性の衰退など、今や待ったなしの状況下にあるとされています。

一方で、国連が提唱した持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals、SDGs)は急速に社会のさまざまな局面で共有されるようになっており、今後も私たちの活動の道標の一つになっていくでしょう。しかし、その捉え方は人々の活動の動機や立場によって異なっており、それらの違いに目を向けながら、本当の共有に近づけていかなければなりません。私たちは、こうした問題を共有し、専門家の提言を聞く機会を設けるために、例年のアースデイとやまの主要イベントの開催時期である5月後半に、今年は「アースデイとやま特別ワークショップ 本当に持続可能であるために」を開催しました(5月27日、富山大学五福キャンパス、基調講演者：国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)理事長 大和裕幸氏)。この集会では、国際的な海運業の脱炭素化を例として、現在の私たちの生活を支える社会のインフラが抱える課題や問題点が浮き彫りにされました。これを踏まえて、私たちは今年のアースデイとやまに最もふさわしいテーマとして、「それぞれの持続可能性」を取り上げます。

この問題は一朝一夕に解決するものではありませんが、私たちアースデイとやまが培ってきた「楽しみながら学び考え分かちあう力」で乗り越えていきましょう！

1. 名称とテーマ

アースデイとやま 2023 「それぞれの持続可能性」

2. 開催日時

- 日 時：2023年10月1日(日) 10:00~16:00
- 場 所：富山城址公園(富山市本丸1)

3. 事業規模・参加費(対面開催の場合)

- 当日スタッフ：約80名
- 参加見込み人数：約2,000人
- 参加費：一般無料 (出展/出店者については参加登録料(協賛金)が必要です)

4. 主催・後援など

- 主催：アースデイとやま 2023 実行委員会
- 協力：富山大学・理学部・自然環境科学科・野生動物保全学研究室
都市デザイン学部・地球システム科学科・ネオテクトニクス研究室
- 後援(予定)：富山県、富山市、富山県教育委員会、富山市教育委員会、富山大学、富山県立大学、富山国際大学、富山短期大学、富山県生活協同組合連合会、(公財)とやま環境財団、富山大学生生活協同組合、とやま森づくりサポートセンター、グリーン連合

5. 企画の概要

- ・ステージでは地球環境や地域社会の持続可能性について、特に環境問題に関する側面を中心にしたトークを実施する。これまでは外部の識者をお招きし、専門家の知見や各地の先進的な事例を紹介していただくことが多かったが、今回のテーマを「それぞれの持続可能性」としたことや、地域のアースデイらしさを重視して、アースデイとやまの関係団体のうちから持続的に活動を行っている団体の関係者をゲストに招き、活動を持続的に行う秘訣や現場での悩み、問題点を語っていただき、それらを共有するとともに、団体間の連携を深めるなどによってそれらの問題点を克服していく方策を模索したい。
- ・出展・出店会場では暮らしの中や職場での、地球環境や地域社会の持続可能性に関するアイデアを提供する。このテーマに沿った活動を県内で実施している学校などのグループに活動報告をしていただく。
- ・SDGs の 17 項目のうちどれが各出店・出展者の活動に関係あるかをブースで分かるよう掲示し、テーマと出店・出展のつながりを明らかにする。
- ・会場の特色からより多くの人に参加していただくよう子供の遊び場があるコーナーを設け、ワークショップやリサイクルのコーナーなども従来通り設置する。
- ・来場者に 1 日ゆっくり楽しんでいただくため飲食ブースも設置するが、そのコンセプトは従来通り、食材に地産地消や有機農産物を取り入れ、食器については使い捨て容器をやめ、リサイクル容器を使用する。
- ・会場では省エネやゴミの削減をすすめ、会場の電源も再生可能エネルギーの使用を推進する。

6. 実行委員会役員

- ・実行委員長 横畑泰志 (NPO 法人立山自然保護ネットワーク理事長・富山大学理学部教授)
- ・副実行委員長 酒井隆幸 (NPO 法人 Bamboo Saves The Earth)
- ・事務局長 遠山和大 (富山大学総合情報基盤センター講師)
- ・企画 橋本順子 (土遊野農場)
安江健一 (富山大学都市デザイン学部准教授)
水林慶子 (光教寺)
- ・広報 遠山和大 (富山大学総合情報基盤センター講師)
横山寛明 (富山大学大学院理工学研究科)
永田奈緒子 (みどり共同購入会会員)
水林慶子 (光教寺)
- ・出店・会場 酒井隆幸 (NPO 法人 Bamboo Saves The Earth)
- ・特別 WS 担当 横畑泰志・安江健一・遠山和大・水林慶子・水林義博
- ・会計 清水千佳子 (とやま生活協同組合)
- ・会計監査 金谷敏行 (みどり共同購入会)

7. 連絡先

アースデイとやま 2023 実行委員長 横畑泰志 (〒930-8555 富山市五福 3190 富山大学 理学部
自然環境科学科 野生動物保全学研究室、Tel. 076-445-6376、
Fax. 076-445-6549 (事務室)、yokohata@sci.u-toyama.ac.jp)